

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年8月25日）

－野田村まつりのお手伝い・ねぶた運行－

この日の活動は、野田村で行われている「野田村祭り」のお手伝いが目的でした。そのメインイベントは、「のんちゃんねぶた」の運行です。参加者は9名（市民3名、学生6名、教員1名）と、数こそ少なかつたものの、ベテランの市民、ベテランの学生が揃っていたため、新人の教員（私）はただ横にくっついて参加することができました。



休憩所での記念撮影



修理を受けるのんちゃん

バスは11時に出発し、野田村に到着したのは2時過ぎでした。すでに祭りは活気をおびています。野田村中心街の周りには、これまでに見たことのない量の車がずらりと並び、広場では多くの方がステージ上の出し物に見入っていました。

さっそく、「のんちゃんねぶた」の修繕と、運行準備にとりかかることになりました。穴が空いていた「のんちゃんねぶた」の修繕は終わったと連絡を受けていましたが、いざ、電源を入れてもライトが付きません。市民の方が配線を組み直して、このトラブルはすぐに解決しました。ところが、次の問題が大変でした。手配してもらっていた発電機（新品）が動かない、というトラブルが発生したのです。何度やり直しても、どのようにいじっても電気がつかず、別の発電機を用意してもらったのですが、そちらも動かず。結局、3台目の発電機をお借りして、電源を確保できました。

「のんちゃんねぶた」以外の取り組みとして、16時頃からは、祭りでの出店のお手伝いをするようになりました。2名はジュースの売り子、2名は焼鳥屋台の裏方、1名は、米田さんの田楽の売り子として、せっせと働きました。お手伝いといっても、学生さんは青年会の方から仕事を教わったり、差し入れをもらったり、さまざまな経験をもたらしたようでした。



出店のお手伝い①



出店のお手伝い②

19 時頃、お手伝いを小休止してのんびりしていたところ、なんと、遠くからねぶたの音（太鼓や「やーやーどー」のかけ声）が聞こえてきました。今回のねぶたは、北面ねぶたの会の方と一緒に運行する予定だったのですが、その開始時刻に、確認ミスがあったようです。慌てて、のんちゃんねぶたを起動して、本体のねぶたの後を追いかけてきました。幸い、すぐにねぶたに追いつき、弘前の大型ねぶたの前座、「前ねぶた」として、野田村を練り歩くことになりました。ねぶたは大好評で、見物している多くの人（とくに子どもさん）が走って追いかけてたり、写真をとったり、歓声をあげたり。最後には、広場を 4 周して、村の人々にお披露目をしました。そこでは多くの「ありがとう」という声をいただきました。



野田村を練り歩く「のんちゃんねぶた」



子供に大人気

野田村を出発したのは 21 時前でした。皆くたくたになって、バスの中ではほとんど眠っていました。今回の活動では、その場その場で対応すべきことが多かったものの、無事、のんちゃんねぶたを野田村の皆さんにお披露目し、帰路につくことができ、良かったです。

(担当 日比野愛子)